年間2回から3回に ひとときコンサート 盛り上がる

令和6年6月30日(日)に文化パルク城陽の地下、屋内広場(市民プラザ)で開かれた令和6年度第1回目のひとときコンサート。朝から降っていた雨も昼には止んで、客足も徐々に増えだしました。梅雨の鬱陶しさを吹き飛ばすかのように、出演者も観客も盛り上がりました。

1組目はお揃いの素敵な衣装を身にまとった「大正琴ファンタジー琴音人・陽」の皆さんによる演奏。様々なジャンルから選ばれた素敵な曲が大正琴で次々に演奏されました。普段あまり目にすることのない電子大正琴の音色に多くの観客が魅了されました。

2組目は、「ハマー&タニー」のギターデュオ。懐かしのベンチャーズの大ヒット曲「パイプライン・ダイヤモンドヘッド」を皮切りに、サザンのヒット曲「いとしのエリー」など、観客が思わずロずさんでしまう曲を披露し、初舞台に花を飾りました。ご本人たち曰く、後半は緊張で指が動かなかったとのことでした。

3組目は、おなじみ「京本梢バレエ教室」の皆さん。かわいい子ども達の踊る姿に歓声とシャッター音は途切れません。日頃の練習の成果を存分に発揮されていました。最後は、今流行りの「Bling Bang Bang Born」が流れると会場の観客、お子様達も思わず踊り出し、大盛り上がりとなりました。

今年は3回のひとときコンサートが予定されており、8月4日の第2回コンサートのは、CKミュージック・ポピュラー・ジャズ研究会、琴伝流・向日葵、フラオマヌレアが出演。フラオマヌレアは入会して2カ月の女の子たちの踊る姿が初々しく、客席の保護者のスマートフォンのカメラが記録しました。向日葵は懐メロを演奏、CKミュージック・ポピュラー・ジャズ研究会の演奏は、素晴らしかったです。

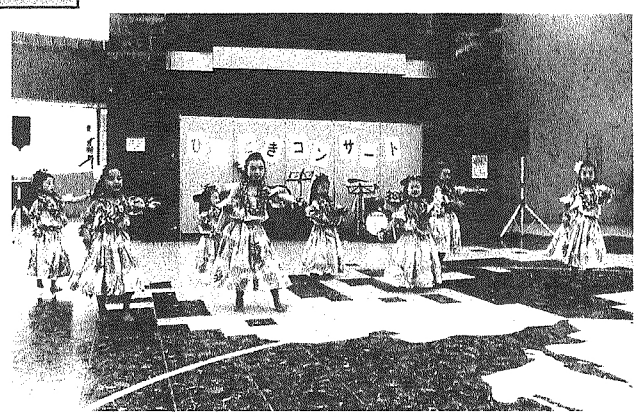
9月1日午後2時から開催の第3回には、韓国舞踊hwa仙(ファソン)、フォークグループ1・2・3、大正琴くらが、ステージに立ちます。ぜひ足を運んで頂きたいと思います。

(土谷 純一記)

市民プラザで素敵な踊りを披露する京本梢バレエ教室

コミセン施設利用の際の注意点

- ▽使用前、コミセン事務所でカゴを受け取る
- ▽使用中の鍵の開け閉めはできません
- ▽使用後は掃除をすること
- ▽使用人数報告書を記入し、コミセンにカゴを返却し終わったことを伝える



子供たちの初々しさが際立ったフラオマヌレア

この人インタビュー VOL3

歴史民俗資料館 館長 薄井 ゆみこさん

―資料館とのかかわりは、いつからになりますか?

平成15年1月より、学芸員として勤務しております。私は、城陽で生まれ育ちました。また大学で美術史を専攻しており、城陽市の試験を受けて採用されました。

―学芸員としての仕事はいかがでしたか?

研究者の視点というより、市民目線で興味を持っていただけるように展示内容を考えたり工夫することにやりがいを感じていました。

―新しく館長になられていかがですか?

力の及ばない部分もあるかと思いますが、市民の方に喜んでいただける施設となるよう尽力してまいります。

―今後の抱負やPRしたいことを聞かせてください。

文化芸術協会のみなさまには、いつもポスターを掲示いただき、ありがとうございます。今後も、市民が気軽に立ち寄れるような資料館をめざし、楽しい展示や体験プログラムを用意いたします。また、特別展示室の貸し出しを行っています。文化芸術協会で、サークルの作品発表などにぜひご利用ください。

―ありがとうございました。こちらこそありがとうございました。

(中村 康信記)

サークル紹介

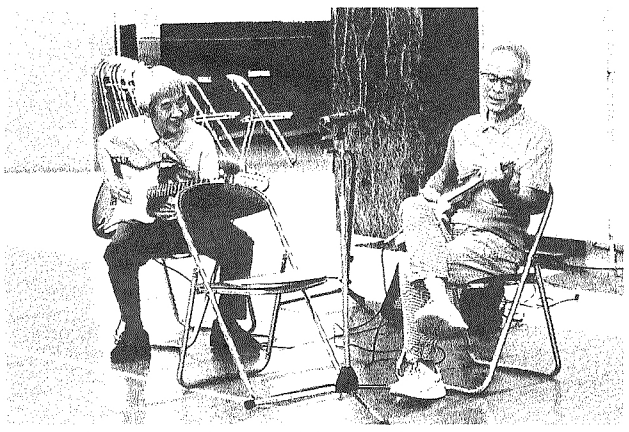
ハマー&タニー

エレキギターを中心とした活動を、かれこれ10年続けておられる2人。お名前の通り浜好博さんと谷口清裕さんの名(迷)コンビ。

今年、初めてデュオとして結成され、城陽市文化芸術協会に加入されました。今年度6月のひとときコンサートが初めての舞台となりましたが実を言うと、あの日本を代表する人気ゆるキャラクター「くまモン」のショーが1週間前の6月22日に城陽市内のある畳会社で行われ、その前座として「ハマー&タニー」が登場され、くまモンファンにも大好評でした。

ベンチャーズのヒット曲や、サザン・オールスターズのヒット曲をはじめ、渚ゆう子の「京都の恋」、山内賢、和泉雅子の「二人の銀座」など私たちも思わず口ずさむ曲を得意とされています。今後もハーモニカや大正琴など、他の楽器とのコラボも検討中とのことですので、どうぞよろしくお願いします。

(中島 正晴記)



ひとときコンサートで演奏するハマー&タニー

サークル紹介

大和講城陽の会

ご詠歌とは、何でしょうか。寺院や霊場巡礼の際に唱える歌のことで、ご詠歌の多くは31文字(5・7・5・7・7)からなる和歌に節をつけたものです。一般的には鈴(れい)や鉦(かね)を鳴らしながら詠唱するものもあり、古くは平安時代から伝わる伝統芸能の一つです。大和講城陽の会は古典文化芸術連盟に所属しています。

活動は毎週月曜日午後1時から福祉センター2階でお稽古をしています。活動としては、年1回文化芸術協会主催「春いちばん文化まつり・古典芸術のつどい」に出演しています。

右手、左手を使い、腹式呼吸で大きな声を出すことで、ボケ防止の一つと思い楽しく活動をしています。古くは平安時代の人々の思い、仏様、観音様に手を合わす心、今自分が生かされていることへの感謝等々伝えていけたらと思っています。

隔月第1日曜日には、北大路の大乗寺、毎月15日は西国15番札所今熊野観音寺、18日は東山大雲院への月参り、毎年4月、10月の17日には山科の牛尾観音寺、12月14日は赤穂47士ゆかりの岩屋寺(大石寺)へお参りをしています。

舞台で演奏すると場内に厳かな空気が流れ、独特の雰囲気に包まれます。私たちの演奏をぜひ一度、お聞きください。

また、四国香川県にある大和講総本部の徳善寺での全国大会にも参加するなどの活動もしています。興味のある方はご連絡ください。阪部美智子(0774-52-3086)。入会をお待ちしています。

古典芸術のつどいで演奏する大和講城陽の会

事務局2階で会議も可能

連盟が会議をする場合、事前に予約して頂ければ、平日、9時から17時までの間、使用可能です。ご希望の連盟は事務局までお問い合わせください。

発行 城陽市文化芸術協会 〒610-0121 城陽市寺田樋尻48-19 TEL0774-55-1210 / FAX 0774-54-7506 JOYO CULTURE & ARTS ASSOCIATION